

いしかわ
地域を
元気に！

みやもと
宮本しゅうじ



討議資料

PROFILE プロフィール (令和7年3月末日現在)

みやもと しゅうじ
参議院議員 宮本周司

【略歴】

1971年3月27日 生まれ (54歳)
石川県能美市 出身
金沢泉丘高校・東京経済大学 卒業

(株)宮本酒造店 代表取締役 [2000～2019]
全国商工会青年部連合会 会長 [2009～2011]

2013年 参議院議員・通常選挙 [全国比例代表] 当選
2019年 参議院議員・通常選挙 [全国比例代表] 当選
2022年 参議院議員・補欠選挙 [石川県選挙区] 当選

【主な経歴】

経済産業大臣政務官
財務大臣政務官
参議院 財政金融委員長

【参議院 所属委員会】

経済産業委員会
予算委員会
災害対策特別委員会
消費者問題に関する特別委員会

【現在の自民党における役職】

財務金融部会 部会長
金融調査会 副幹事長
離島・半島振興特別委員会 事務局長
デジタル社会推進本部 常任幹事
防災体制抜本的強化本部 幹事
東日本大震災復興加速化本部 幹事
経済安全保障推進本部 幹事



宮本しゅうじ後援会事務所

TEL.076-255-0301

FAX.076-255-0306

メール: miyamotoshujikouenkaijimusho@amail.plala.or.jp

〒920-0022 石川県金沢市北安江3丁目1-38 2階

ぜひともフォローよろしくお願いいたします！



ホームページ



Facebook



LINE

闘う決心。

誰よりも日本のチカラと可能性を信じ、
誰よりも日本に対する揺るぎない自信を持つ
政治家を目指します。
日本を創る、あらゆる分野において
国力を取り戻すために、
常に闘う姿勢で政治と向き合い、
大局観・歴史観・国家観をもって先を読み、
国益のために重要だと判断したことには
果敢に挑戦し続けてまいります。
日本を守り、日本の未来を切り拓き、
国家と国民に責任を持つ政治を実現していくために、
これからも専心努力いたします！



北陸新幹線を一日も早く関西へつなげる！
ルート変更も含めて早期の全線開通に努め、
中京との結節点も再構築する！

- ◆ 地元農産物の有する多様な付加価値を可視化し、国内外への商流と物流を意識した販路拡大を応援！
- ◆ 地域の宝や旬の食材を融合した[コト消費]観光戦略の実践！
- ◆ 地震や豪雨などの自然災害に備え、デジタル技術も活用し、地域防災機能を強化するための各種対策を実施。



- ◆ 地域と産業の潜在力を磨き高め、地方創生を進化させる！
- ◆ 働きたい人の意識や希望を叶える、労働時間規制の見直し。
- ◆ 教育にかかる家計への負担を減らし、より充実した教育の提供を。
- ◆ 質の高い公教育の再生と、文化芸術・スポーツの振興を。
- ◆ 地域包括ケアシステムを進化させ、地域で支え合う共生社会を目指す！
- ◆ 年金への不安払拭と医療への安心を実現する社会保障制度の一体的改革を。
- ◆ 児童手当・給付金など子育て支援の拡充と、介護福祉医療の負担軽減を！
- ◆ 国益を守る外交力の強化と、各種安全保障のレベルアップを！
- ◆ 憲法改正を発議し、国民による議論の機会をつくる！



「政治は国民のもの」
政治とは、人々がより豊かに、より幸せになるために、
政策をつくり、実行することだと考えます。
誰もが笑顔になれるような明るい未来がくると願って、
人々は懸命に日々を生きていらっしゃると思います。
その心に寄り添い、温かく支え、力となることが
いま政治家が果たすべき責任だと強く自覚します。
子供たちが大人になることを楽しみにする。
若者たちが未来に夢をえがき希望をいだく。
大人たちが生きがいを感じながら地域社会で活躍する。
年齢や健康への不安を抱える方にも寄り添って、
お一人おひとりが安心して暮らせる豊かな故郷を守るために、
そして、充実感や達成感を得られる元気な地域を育むために、
どうか、あなたの声を聞かせてください。

あなたの声を聞かせてください

地域を元気に!

金沢

県都・金沢の新交通システム構築や
都市機能の最適化を！
産業の価値・魅力・強みを高め、
若者に選ばれる仕事と雇用を育成!

- ◆ 市民が大切にする歴史や文化の保護・活用を強化し、インバウンド需要拡大も狙う地方創生2.0を起動!
- ◆ 地域の実情に応じた医療施設の確保や最適化、高齢者・障がい者に寄り添った福祉サービスの充実。
- ◆ エコ活動や再生可能エネルギー導入を促進し、カーボンニュートラルの実現と環境に配慮した地域づくりを实践。



能登

魅力あふれる能登を取り戻す！
ふるさとの早期復旧と、地域の皆様が願うカタチで、
ヒトを惹きつける復興を!

- ◆ 住民の生活再建と農林漁業や地域産業の再建を強力に応援して、戻ってきたくなくなる・関わりたくなくなる地域を意識した復旧を。
- ◆ 被災地でのインフラ整備を進めるとともに、地域ごとの防災ネットワーク強化や、災害時の情報伝達システム整備を推進。
- ◆ 過疎地で偏在する医師や看護師の確保も含め、関係機関が連携して医療・介護福祉サービスを安定的に提供できる枠組みを具現化。

